

長浜市地域福祉活動計画

平成26年度報告書

長浜市地域福祉活動計画

計画期間：平成26年度～平成30年度

地域の絆で ともに育み支えあい
安心して暮らせるまち 長浜



おせんどさんの地域づくり
だしかいなの人づくり
ねんごろな根太づくり

社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会

長浜市地域福祉活動計画推進委員会

【基本理念】

地域の絆で ともに育み支えあい 安心して暮らせるまち 長浜

基本目標 1 おせんどさんの地域づくり
〔地域の絆で安心して暮らせる地域づくり〕

①地域の絆づくり

◆地域の交流活動、高齢者やしょうがい者などの居場所づくりの活動が広がっています。

地域福祉推進の基盤組織である地区社協（福祉の会）が実施した地域交流活動が131事業にのぼり、参加者総数延べ15,289人の交流・ふれあい活動が実施されました。小地域においては高齢者の交流・居場所づくりの『ふれあいサロン活動』が新たに12地域（自治会）で展開され市内165カ所、延べ31,785人が参加し地域の絆を深めました。

また、しょうがい者や介護、外国出身者など同じ立場にある方同士の交流や情報交換・居場所づくりを推進し、しょうがい者交流では40回の開催、延べ1,095人が参加し、しょうがい者やその家族が互いにささえあい地域とのつながりを深める取り組みが進められました。

②健やかな成長と自立を育む地域づくり

◆住民活動の中で子どもの健やかな成長と保護者のつながりが生まれています。今後さらに地域の協働体制の構築が求められています。

住民福祉活動やボランティアとの協働により、未就園児と保護者の成長・つどいの場である『おもちゃ図書館』が地域ぐるみの子育て、保護者の応援活動として取り組みが展開されました。『おもちゃ図書館』の参加者数は前年比75%増の818人と飛躍的に増加しています。

一方で、『冒険遊び場』では担い手の固定化などによる負担増等により活動の停滞などの課題が顕在化し、解決に向けては更なる地域住民組織やボランティアとの協働・連携の強化が必要な状況となっています。

◆日常生活を送るうえで様々な生活課題や不便さを感じる方への支援の輪が広がりをを見せています。

生活支援ボランティア組織が市内2カ所（神田・余呉地区）で組織され高齢者やしょうがい者の方々へ60回の生活支援活動が提供されました。また団体活動の充実を目的としたボランティアの育成・研修や活動の周知、活動機材などの整備が進められました。高齢者や子育て世帯等が抱える日常の生活課題に対して、身近な地域のボランティアが柔軟に対応、支援する仕組みづくりが進められています。

③見守りで支えあう地域づくり

◆地域の基盤やつながりを活かした見守り、ささえあい活動への取り組みが高まっています。

新たに11地域（自治会）で福祉委員活動が進められるなど、着実に地域の中で高齢者・しょうがい者などの要援護者世帯への見守り、ささえあい活動の仕組みづくりが進められています。

また、冬季には要援護者にとって大きな生活課題である、除雪支援の仕組み『地域除雪支援事業』が導入され61自治会、1,028世帯において地域住民による要援護者世帯に対する除雪活動・見守り活動が展開されました。

◆防災活動と見守り活動をつなぐことで、地域の福祉活動の大切さ、関心が深まっています。

災害時や日ごろの地域の見守り活動の仕組みづくりを進めるため、33回の研修会を開催し、1,877人が参加しました。『防災・福祉マップ』の作成や、『HUG～避難所運営の訓練～』（避難所運営ゲーム）、『いざ飯づくり（いざという時の食事づくり）』などそれぞれの地域実情に応じた取り組みにより、地域や自治会の見守り体制の充実と住民意識向上の取り組みが進められています。

15,289 人



地区社協(福祉の会)交流事業参加者数

地区社協(福祉の会)交流事業数
130事業(H25) ⇒ 131事業(H26)



市内15の地区社協(福祉の会)による、地域のふれあい、交流事業の参加者数です。ひとり暮らし高齢者や子どもと保護者の居場所づくり、未婚男女の交流の機会づくりなど、地域の特徴や課題に応じた多様な交流の機会をとおして、地域住民のふれあいと交流による福祉の地域づくりに取り組まれました。

60件

日常生活支援ボランティアによる 支えあい活動件数

日常生活支えあいボランティア団体数
新規 2 団体(H26)



平成26年度より、市内で2つの団体により、地域に住む高齢者やしょうがい者など、日常生活を送るうえで様々な生活課題や日常生活の不便さを感じている方々に対し、地域住民による日常生活の支援活動(除草作業、買物サービス、除雪支援、畑作業支援など)に取り組まれています。

165 サロン 31,785 人

小地域サロン実施数(※社協登録団体) およびのべ参加者数



小地域サロン実施数
153(H25) ⇒ 165(H26)

市内で活動中の小地域サロン実施数とのべ参加者数です。

最も身近な福祉活動の単位である自治会を中心に、月一回程度のサロン活動に取り組まれており、高齢者を中心に多くの方の交流や見守り支えあいの場となっています。



基本目標2 だしかいなの人づくり [お互いさまの関係づくり]

①参加と交流を育む環境づくり

◆福祉に対する理解や関心を高める活動やボランティアへ参加する機会が広がっています。

次世代を担う子どもたちを中心に、福祉学習の場である『福祉教育』が市内33校の教育機関および企業・地域で303回実施されました。高齢者疑似体験、ボランティア学習・体験、車いす体験等をつうじて、ともに学び支えあう関係づくりが広がっています。

また、福祉活動を担うボランティア人材の育成、支援を目的とする『ボランティア養成講座』が7回開催され、828人が受講しボランティア活動者の育成やスキルアップの取り組みが実施されました。

②ともに支えあい頑張りあえる仲間づくり

◆ボランティア団体等の結成や活動を支える仕組みづくりが着実に進められています。

ボランティア団体が新たに5団体結成・登録され237団体となりました。それぞれの福祉課題・テーマにおいて市内各地域・分野でボランティアの自主的な活動が展開されています。またボランティア情報誌等の発行（16回/約52,000部）や共同募金等を財源とした活動費の助成（92団体）などを行なうことで、ボランティア団体活動の充実が図られています。

地区内のボランティア団体で結成するボランティア連絡協議会（9組織）は、研修や交流・情報交換等の事業数を49回に増加させ、新たな人材の育成や活動の充実に取り組んでいます。

③ やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり

◆ 地域の見守り活動やサロン活動の担い手の育成が進み、活動者が増加しています。

地区社協などの住民組織による人材育成のための研修会が28回開催され、1,490人が参加するとともに、民生委員児童委員とともに地域の見守り活動を担う福祉委員の研修会が11回開催、504人が参加するなど、地域福祉推進のリーダーとなる人材育成の取り組みが進められています。

また、高齢者を中心とした地域の交流・居場所づくりを進めるサロン活動従事者も前年比6.5%増加し延べ9,492人の方々がそれぞれの地域においてサロン活動に従事しました。男性参加者の獲得を狙ったコミュニケーション麻雀などの学習会開催など、サロン活動の課題に対応した人材育成が進められています。

8,909人 303回



福祉教育受講者数および実施回数

福祉教育受講者数

8,789人(H25) ⇒ 8,909人(H26)

福祉教育実施回数

275回(H25) ⇒ 303回(H26)

子どもから大人まで、福祉について考える機会となる福祉教育の受講者数と実施回数です。

学校だけでなく、自治会や企業といった場面でも、福祉について考える機会が増えてきおり、着実に「福祉の芽」が育っています。

828人

ボランティア養成講座受講者数

ボランティア養成講座

講座開催数 7回(H25) ⇒ 8回(H26)

受講者数 539人(H25) ⇒ 828人(H26)

新たにボランティア活動に取り組むことや活動の充実を目的とした、ボランティア養成講座の受講者数です。

講座の内容のリニューアルや周知活動を充実させることで、非常に多くのボランティア活動者の育成やスキルアップの取り組みが進められました。



9,492人 2,465回

小地域サロン活動従事者数 および小地域サロン開催数

小地域サロン開催数

1,794(H25) ⇒ 2,465(H26)

各自治会などを中心に開催されているサロンに関わる活動従事者数と開催数です。

非常に多くの方の協力により、各地においてきめ細やかな心配りのあるサロン活動が開催されています。



基本目標3 ねんごろな根太づくり
〔支えあって、安心して暮らせるしくみづくり〕

①気楽に相談できる関係・環境・意識づくり

◆市民生活を支える生活相談の基盤が整備されています。

市民の身近な相談窓口として、よろず相談所の運営や社会福祉士、しょうがい者相談員等の専門職7名を配置した生活相談窓口を運営し、住民の福祉課題やニーズに対応する基盤が整備されています。

また、新たに生活相談機能の強化として成年後見・権利擁護にかかわる普及啓発活動・制度利用支援等の機能を追加し、幅広い市民生活の相談窓口として充実が図られています。

②気になる人を支えられる関係づくり

◆地域で見守りが必要な方への支援体制の充実が必要です。

市全域において災害時や日ごろの見守り等が必要な要援護者を支援するため『避難支援・見守り支えあい制度』の取り組みが進められています。しかし、平成24年度の登録者数3,190人をピークに減少し平成26年度末(H27.3現在)では2,348人の登録と大幅な減少となっています。地域内での見守りささえあい活動の基盤となる本制度を推進し、近隣住民による互助・共助の取り組みを更に推進することが求められています。

③協働と参画による地域づくり

◆各地区において住民主体の福祉活動計画の策定をとおした、地域福祉推進の取り組みが広がっています。

長浜市地域福祉活動計画の策定にもとづき、市内各地区において地域版の福祉活動計画の策定が進められています。8地区が地域の実情や課題を明らかにし、地域ニーズに応じたきめ細やかな福祉活動を進めるための計画づくりに取り組み、4地区で計画の策定が完了しました。計画策定の過程で、地域住民同士が地域の生活課題や地域実情を把握するとともに、これからの地域福祉活動に求められる活動・取り組みを整理し、実行していく基盤の整備が進められています。

専門職の配置 7人
10,874回

相談員等専門職の配置数および相談支援回数

相談支援回数

7,598件(H25) ⇒ 10,874件(H26)



市民の身近な相談窓口として、よろず相談や社会福祉士、しょうがい者相談員等の専門職の配置数と相談支援回数です。

平成26年度は、新たに生活相談機能の強化として、成年後見・権利擁護に関わる普及啓発や制度利用支援などを設け、市民生活の相談窓口としての機能を充実させています。



850件

地域福祉コーディネーターによる
地域福祉活動支援件数

地域福祉コーディネーター配置数

15地区(H25) ⇒ 15地区(H26)

市内15の地区に地域福祉コーディネーターを配置し、地域のふれあい活動の推進や福祉団体支援、地域の現状や課題について考える機会などの地域福祉活動支援を実施しました。



33回
416人

福祉懇談会(地域ケア会議)開催回数
およびのべ参加者数

福祉懇談会開催回数

2(H25) ⇒ 33(H26)



長浜市地域福祉活動計画の策定に基づき、市内各地区で開催された地区版の地域福祉活動計画の策定などに関連した、地区の福祉の課題や実情についての懇談会の回数と延参加人数です。

各地区において、きめ細やかな話し合いが開催されています。